

# 向井潤吉

## 西日本紀行



2016年

2月6日(土)

《

3月21日(月・祝)



《海に見える梅林》[和歌山県日高郡南部町]1968年 \*〔 〕内の地名の表記は、制作時の記録等に基づきます。

開館時間：10:00—18:00 (最終入館は17:30まで)

休館日：毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館し、翌平日休館)

観覧料：一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)

\*障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき、1名)は無料。  
証明書をご提示のうえ、お申し出ください。\*( )内は20名以上の団体料金 \*小・中学生は土、日、祝・休日は無料

2015年12月7日(月)—2016年2月5日(金)は改修工事のため休館いたします。

世田谷美術館分館

### 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL:03-5450-9581

<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>



# 西日本紀行 向井潤吉

洋画家・向井潤吉(1901-1995)は、現在、向井潤吉アトリエ館のある世田谷区、弦巻の地に、1933年にアトリエを構えました。終戦後は、次々と姿を消す伝統的な民家を追い求めて、全国を歩き始めます。主な取材先は埼玉や長野、岩手などの東日本でしたが、しばしば、生まれ故郷である京都をはじめ、西日本各地にも足を運びました。

紀州の梅林、古都奈良の古壁、京都の雪景色、瀬戸内の島、倉敷の町並み——。民家を探す旅路で、向井は西日本の気候や風土が生み出す四季折々の景色にも出会い、絵筆を揮いました。

本展では、これまでまとめて紹介する機会の少なかった西日本を描いた油彩画、水彩画を集め、向井が綴った紀行文を併せてご紹介します。旅の味わいを感じつつ、画家が魅了された風景の数々をお楽しみください。



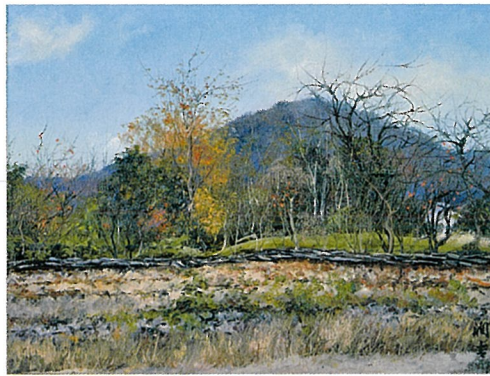
《鶴の来る村》[山口県熊毛郡熊毛町八代]1967年



《海と岩》[高知県室戸市室戸岬]1960年



《晩秋》[京都府船井郡丹波町]1969年



《古壁の秋》[奈良県奈良市高畑町福井、奈良新薬師寺近く]1971年



《海の見える村 香川県》[香川県小豆島]制作年不詳

国道九号線に沿った丘の上に、まだこんな集落が珍しく残っている。小振りだがガッシリとした骨組、荘重な萱屋根、長い年月を大地に根を据えた動かぬ頑丈な構えは、伝承の歴史の深さを考えさせられる。

《晩秋》自作解説(『日本の民家』1979年 所収)

新薬師寺から白毫寺に通じる路傍で、奈良で一番ふるい壁と言われている。奈良で一番古いところは、そのまま日本でも一番ふるいという所以で、そういえばこの道も〈山の辺の道〉の北端近くにあたる。

《古壁の秋》自作解説(『米寿記念 向井潤吉展』1990年 所収)

茅葺きの家の少ないのは、汐風に弱いからであろうか、あるいは材料の萱場がないためなのだろうか、たいていは瓦が使われている。(中略)お遍路さん達の遠のいている季節は、こちらはのんびりと鼻歌でも出そうな路である。

《海の見える村 香川県》自作解説(『素描集』1981年 所収)

## 世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL:03-5450-9581 <http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

2015年12月7日(月)～2016年2月5日(金)は改修工事のため休館いたします。

### [交通案内]

東急田園都市線「駒沢大学」駅西口 徒歩10分／東急世田谷線「松陰神社前」駅 徒歩17分／東急バス(渋05)渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」徒歩3分／東急バス(等11)祖師ヶ谷大蔵駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分／東急バス(渋11)渋谷駅～田園調布駅「駒沢大学駅前」徒歩10分／東急バス(渋12)渋谷駅～二子玉川駅・高津営業所「駒沢大学駅前」徒歩10分

### 世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17  
TEL:03-3416-1202  
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>



©宮本和義

◆ 清川泰次の生活デザイン  
2015年12月19日(土)～2016年3月21日(月・祝)

### 世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13  
TEL:03-5483-3836  
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>



©宮本和義

◆ 画家と写真家のみた戦争——宮本三郎、久永強、向井潤吉、師岡宏次  
2015年12月19日(土)～2016年3月21日(月・祝)



## 世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL:03-3415-6011(代表)

[展覧会のご案内] TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル)

<http://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

\*詳細はホームページなどでご確認ください。

### 同時開催

#### 企画展

- ◆ スペインの彫刻家フリオ・ゴンサレス——ピカソに鉄彫刻を教えた男 | 2015年11月28日(土)～2016年1月31日(日)
- ◆ ファッション史の愉しみ——石山彰ブック・コレクションより—— | 2016年2月13日(土)～4月10日(日)
- ミュージアム コレクションIII
- ◆ 〈それぞれのふたり〉シリーズ「小泉淳作と小林敬生」 | 2015年12月20日(日)～2016年3月27日(日)